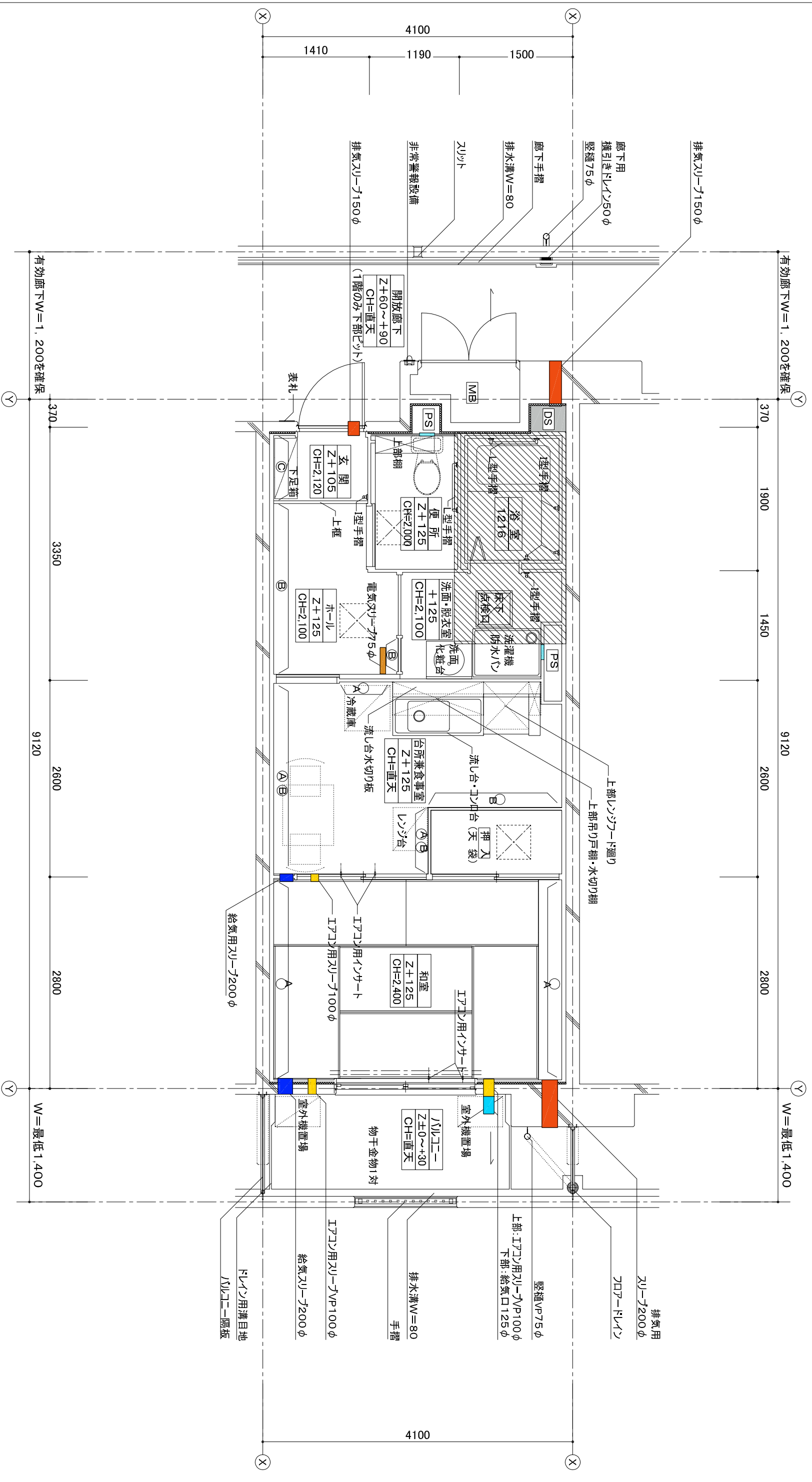
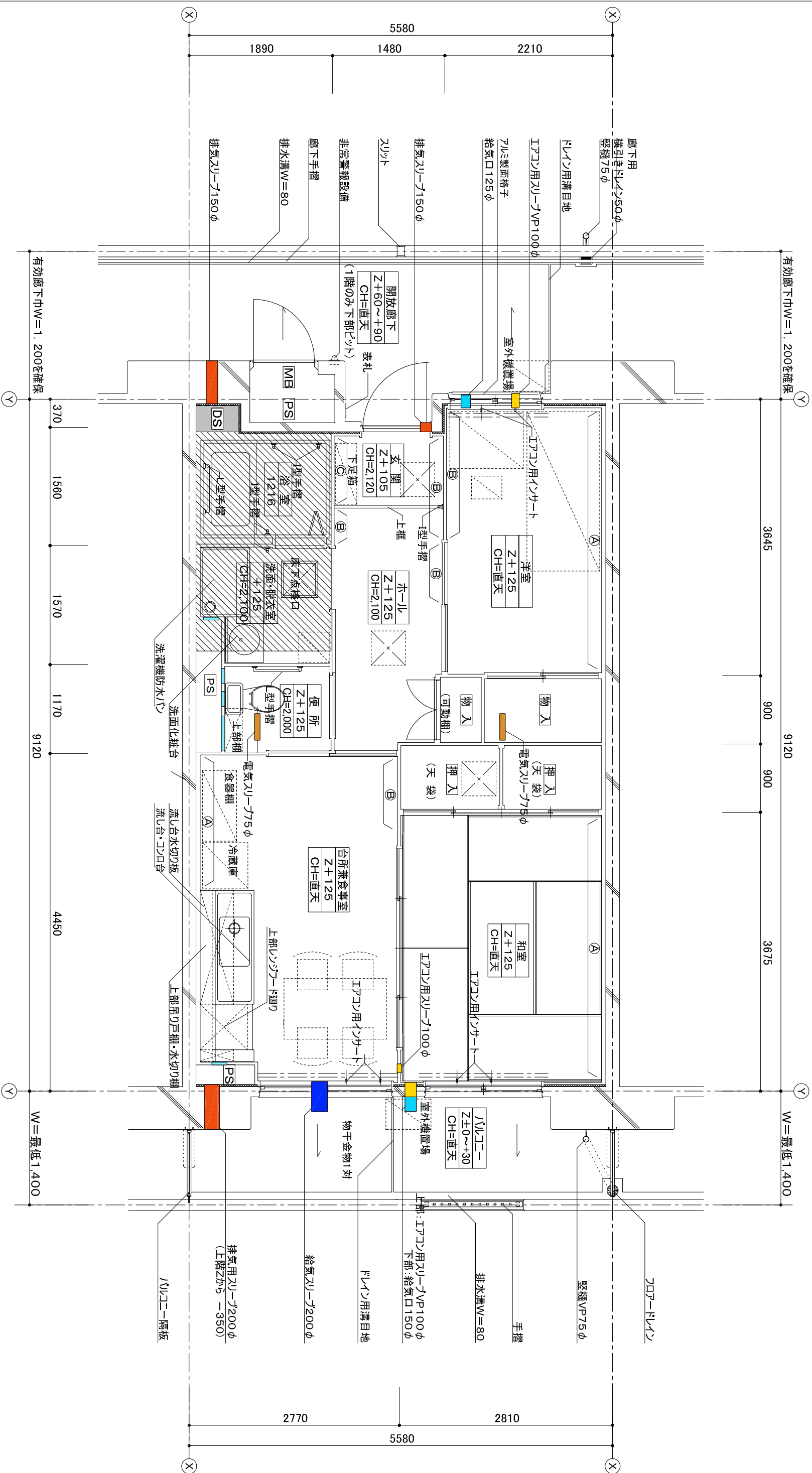


添付図⑬ 標準平面詳細図(1DK)



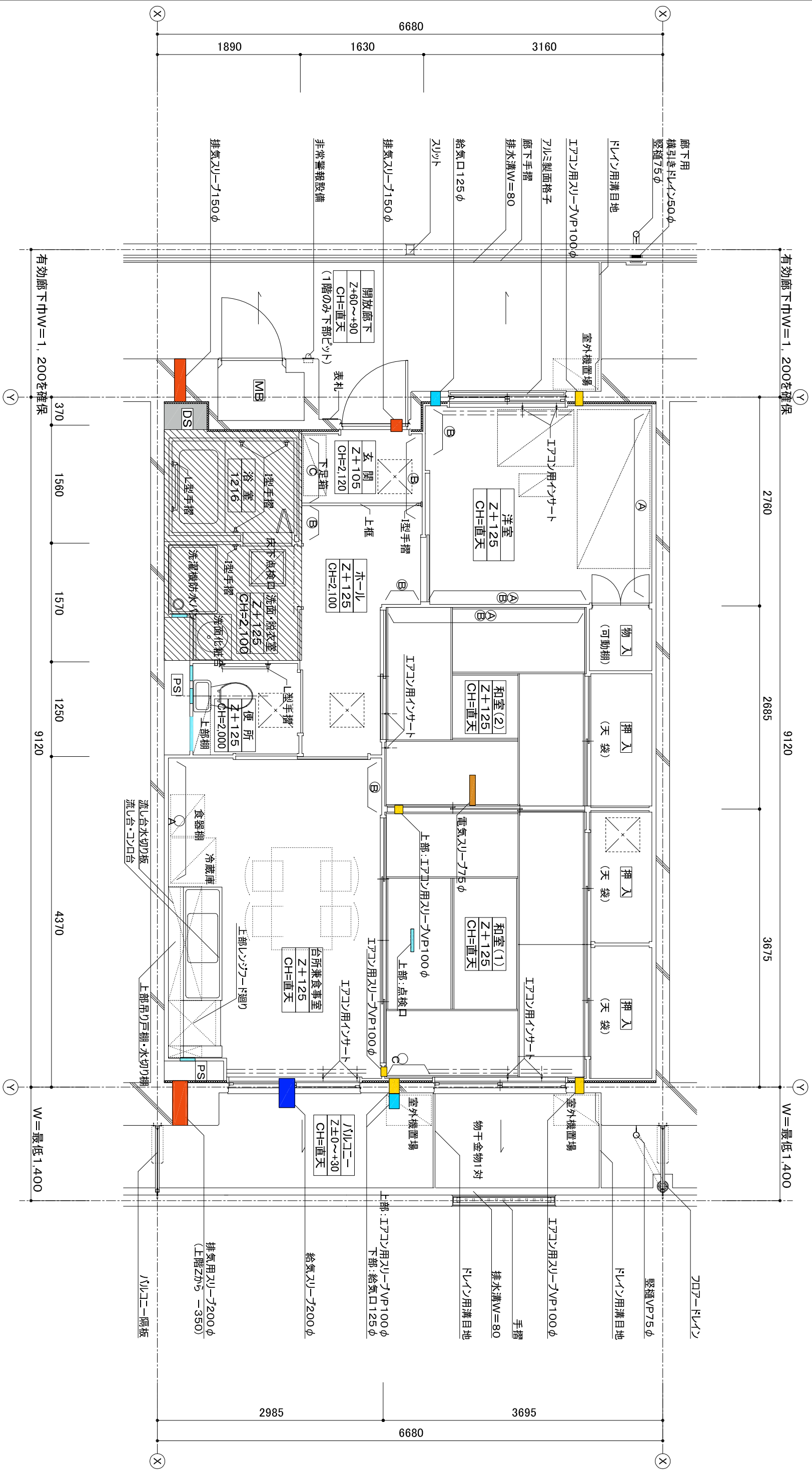
凡	例
<p>■ 排気スリーフ</p> <p>■ 給気口</p> <p>■ 給気スリーフ(ダクト有り)</p> <p>■ エアコン用スリーフ</p> <p>■ 部分はスラフ天Z+60</p> <p>/// 部分はスラフ天SL-280</p> <p>■ 断熱材</p> <p>■ 点検口</p> <p>■ 天井点検口</p>	<p>■ 排気スリーフ</p> <p>■ 給気口</p> <p>■ 給気スリーフ(ダクト有り)</p> <p>■ エアコン用スリーフ</p> <p>■ 部分はスラフ天Z+60</p> <p>/// 部分はスラフ天SL-280</p> <p>■ 断熱材</p> <p>■ 点検口</p> <p>■ 天井点検口</p>
<p>(A) 転倒防止付鴨居</p> <p>(B) 将来手摺下地補強</p> <p>(C) 腰高家具等転落防止金具取付用下地補強</p> <p>--- カーテンレール(S)</p> <p>--- カーテンレール(W)</p>	<p>(A) 転倒防止付鴨居</p> <p>(B) 将来手摺下地補強</p> <p>(C) 腰高家具等転落防止金具取付用下地補強</p> <p>--- カーテンレール(S)</p> <p>--- カーテンレール(W)</p>
<p>特記事項</p> <p>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラフ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラフ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>

添付図 ⑬ 標準平面詳細図 (2DK)



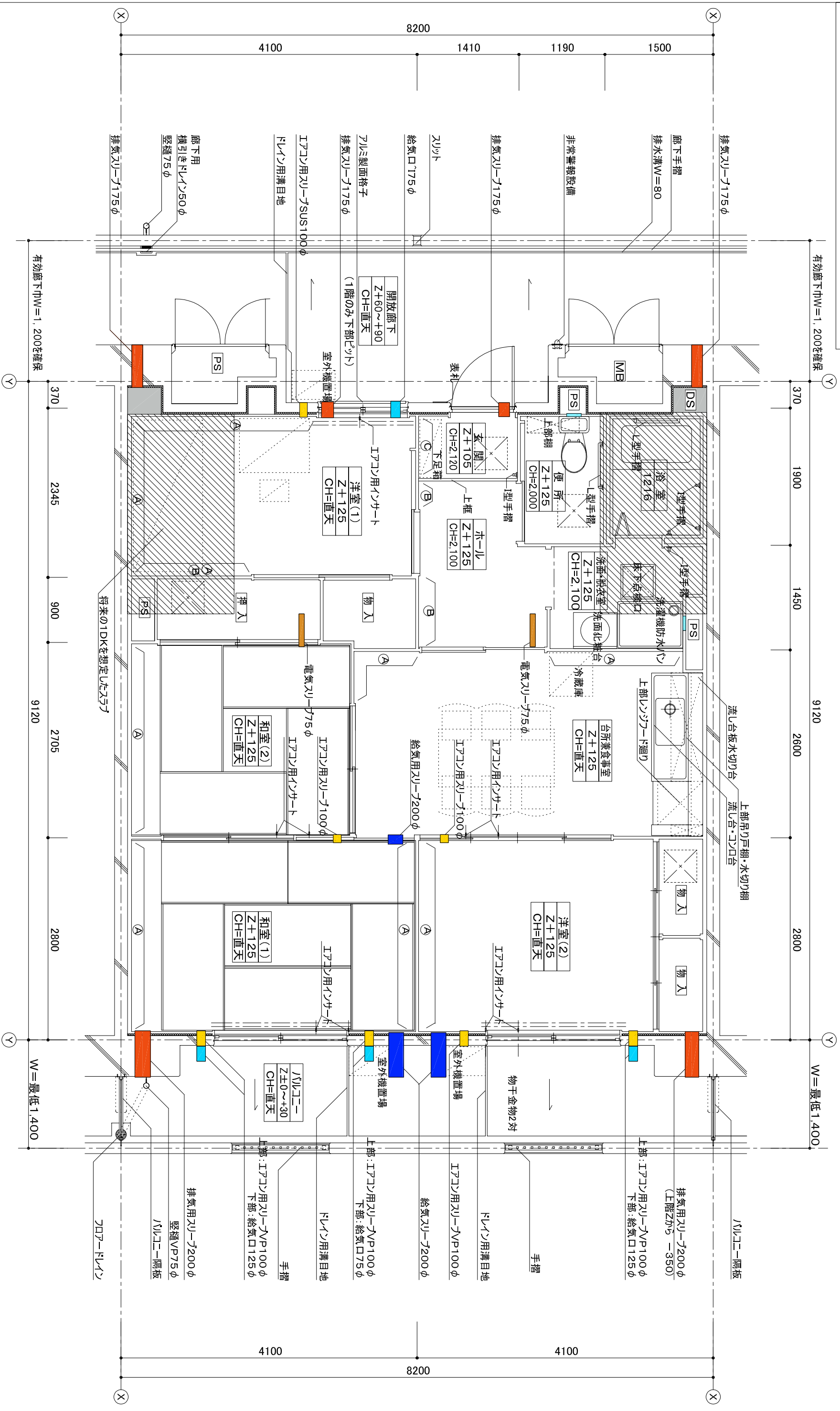
凡	<table border="1"> <tr><td>排気用スリ</td></tr> <tr><td>給気口</td></tr> <tr><td>給気スリ(グリト有り)</td></tr> <tr><td>エアコン用スリ</td></tr> </table>	排気用スリ	給気口	給気スリ(グリト有り)	エアコン用スリ	<table border="1"> <tr><td>部分はスラフ天Z+60</td></tr> <tr><td>部分はスラフ天SL-280</td></tr> <tr><td>断熱材</td></tr> <tr><td>点検口</td></tr> <tr><td>天井点検口</td></tr> </table>	部分はスラフ天Z+60	部分はスラフ天SL-280	断熱材	点検口	天井点検口	特記事項
	排気用スリ											
給気口												
給気スリ(グリト有り)												
エアコン用スリ												
部分はスラフ天Z+60												
部分はスラフ天SL-280												
断熱材												
点検口												
天井点検口												
例	<table border="1"> <tr><td>室名</td></tr> <tr><td>床高さ(FL)</td></tr> <tr><td>天井高さ</td></tr> </table> <p>*Zは各階のスラフ天端とする。</p>	室名	床高さ(FL)	天井高さ	<p>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラフ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>							
室名												
床高さ(FL)												
天井高さ												

添付図⑬ 標準平面詳細図(3DK)



凡例	<table border="1"> <tr> <td>室名</td> <td>排気ルーナ</td> </tr> <tr> <td>床高(FL)</td> <td>給気口</td> </tr> <tr> <td>天井高さ</td> <td>給気ルーナ(グリット有り)</td> </tr> </table> <p>*Zは各階の スラブ天端とする。</p>	室名	排気ルーナ	床高(FL)	給気口	天井高さ	給気ルーナ(グリット有り)	<p>■ 部分はスラブ天Z+60</p> <p>▨ 部分はスラブ天SL-280</p> <p>■ 点検口</p> <p>□ 天井点検口</p> <p>〃 断熱材</p>	<p>(A) 転倒防止付欄干</p> <p>(B) 将来手摺下地補強</p> <p>(C) 腰高家具等転落防止金具取付下地補強</p> <p>(S) カートンレベル</p> <p>(W) カートンレベル</p>
	室名	排気ルーナ							
床高(FL)	給気口								
天井高さ	給気ルーナ(グリット有り)								
<p>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>									

添付図⑬ 標準平面詳細図(4DK)



**凡例**

■ 排気スルー	■ 部分はスラフ天井Z+60	■ 点検口
■ 給気口	■ 部分はスラフ天井SL-280	■ 天井点検口
■ 給気スルー(グリト有り)	■ 断熱材	○ (A) 転倒防止付鴨居
■ エアコン用スルー	■ 天井点検口	○ (B) 将来手摺下地補強

\* Zは各階のスラフ天端とする。

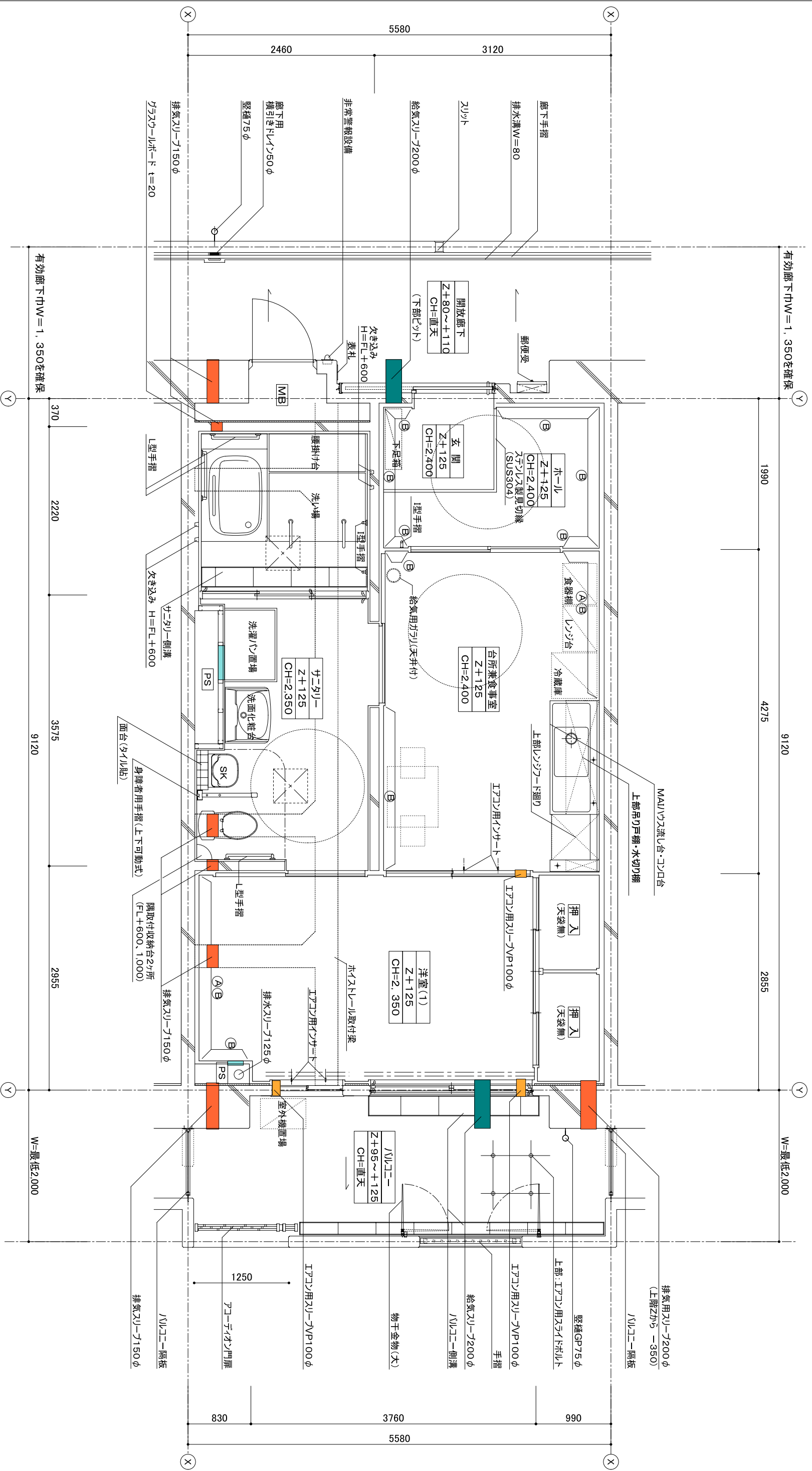
○ (A) 転倒防止付鴨居  
○ (B) 将来手摺下地補強  
○ (C) 壁高家具等転落防止金具取付下地補強

=== カーテンレール(S)  
--- カーテンレール(W)

**特記事項**

1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラフ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。

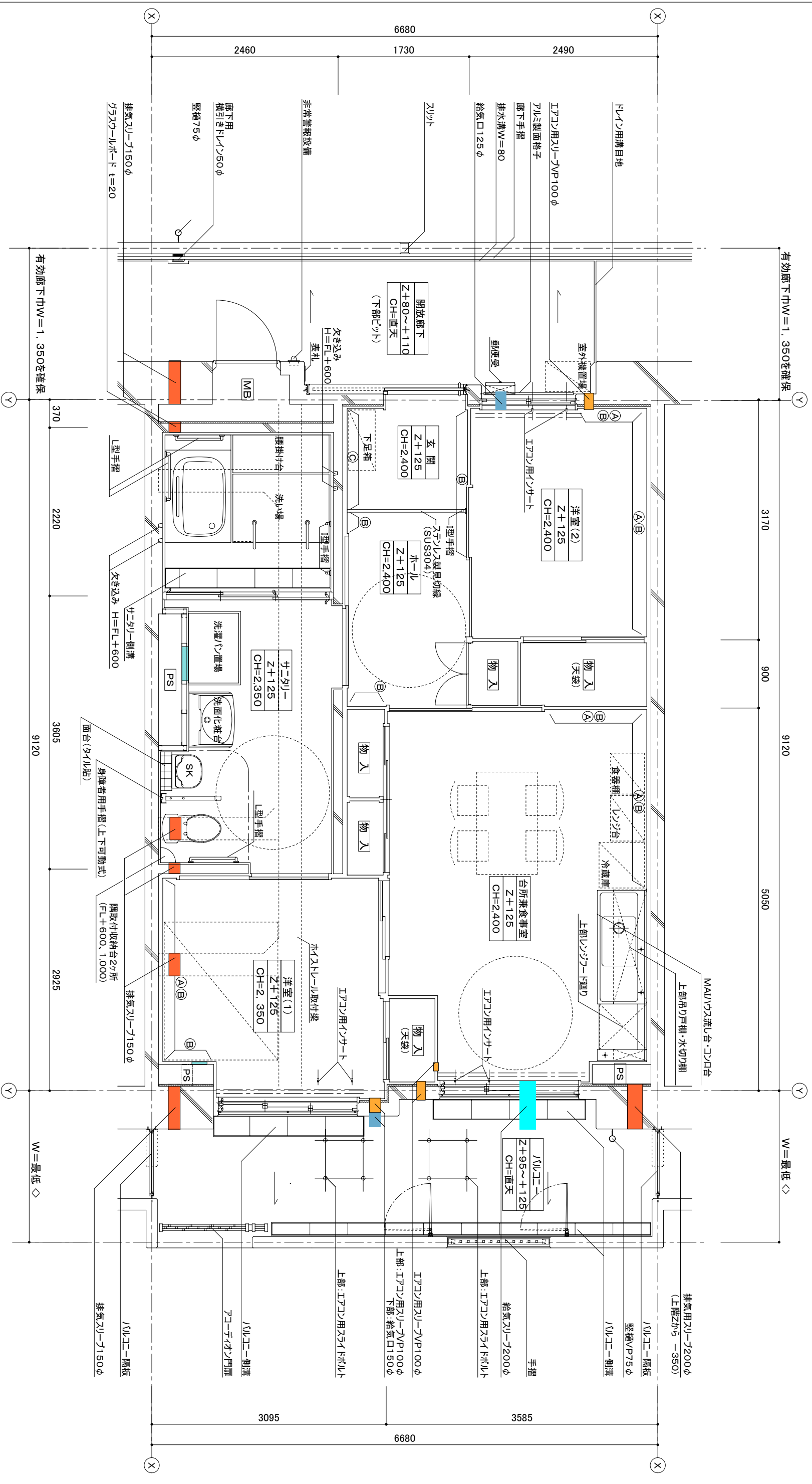
添付図⑬ 標準平面詳細図(MA111/ス1DK) 50.89㎡



凡例	特記事項												
<table border="1"> <tr> <td>排気スリーブ</td> <td>部分はスライ天Z+60</td> <td>点検口</td> </tr> <tr> <td>給気口</td> <td>部分はスライ天SL-280</td> <td>天井点検口</td> </tr> <tr> <td>給気スリーブ(ダクト有り)</td> <td>断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エアコン用スリーブ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	排気スリーブ	部分はスライ天Z+60	点検口	給気口	部分はスライ天SL-280	天井点検口	給気スリーブ(ダクト有り)	断熱材		エアコン用スリーブ			<p>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スライブ(外壁面から900mm以内)にはホリズタルラフォーム保温材(種類3種)(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>
排気スリーブ	部分はスライ天Z+60	点検口											
給気口	部分はスライ天SL-280	天井点検口											
給気スリーブ(ダクト有り)	断熱材												
エアコン用スリーブ													

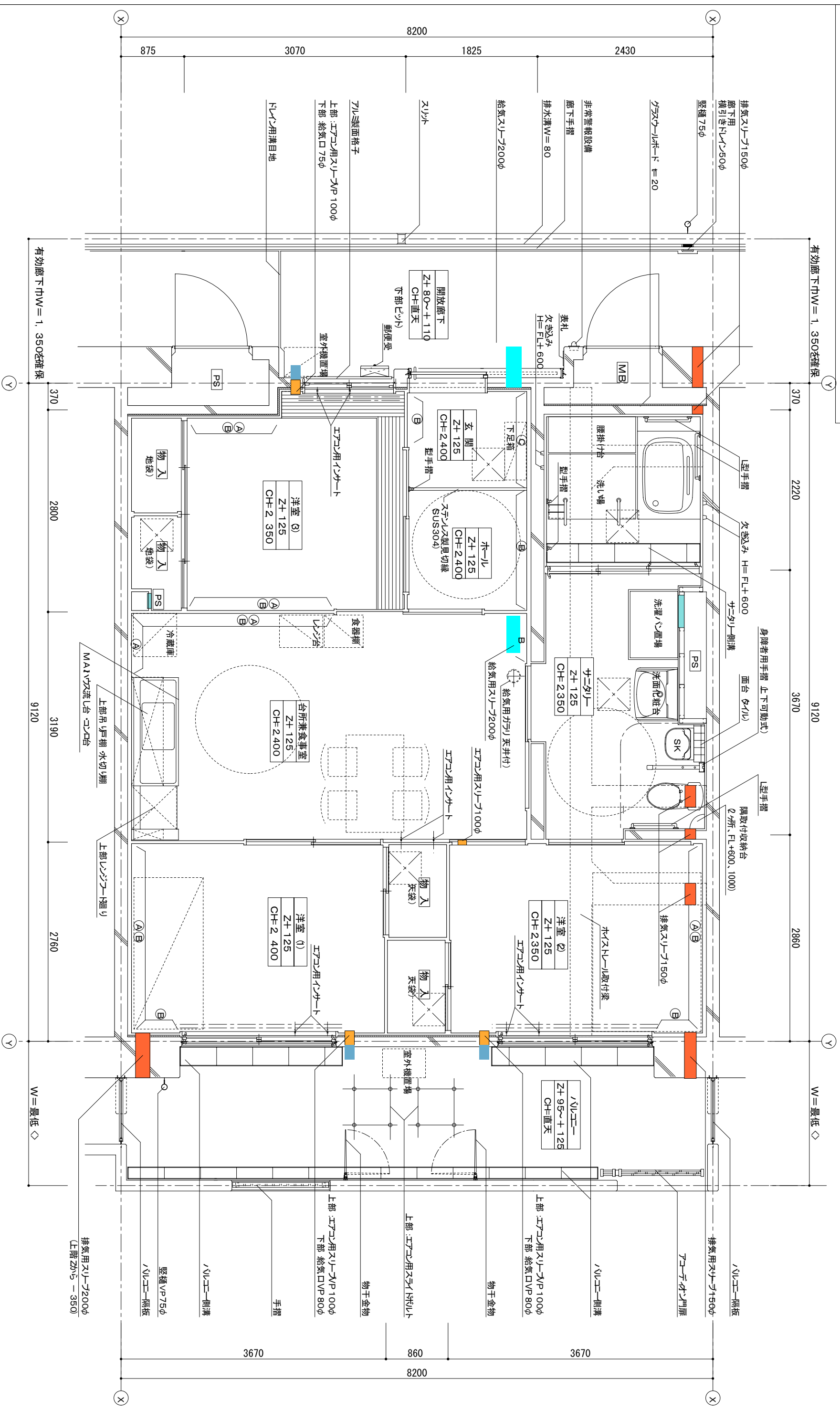


添付図 ⑬ 標準平面詳細図 (MAI/ハウス2DK) 60.92㎡



凡	例
<ul style="list-style-type: none"> <li>換気スリーブ</li> <li>給気口</li> <li>給気スリーブ(ダクト有り)</li> <li>エアコン用スリーブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室名</li> <li>床高さ(FL)</li> <li>天井高さ</li> </ul> <p>*Zは各階のスラブ天端とする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>部分スラブ天Z+60</li> <li>部分スラブ天SL-280</li> <li>断熱材</li> <li>点検口</li> <li>天井点検口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>転倒防止付脚居</li> <li>将来手摺下地補強</li> <li>腰高家具等転倒防止金具取付用下地補強</li> <li>カーテンレール(S)</li> <li>カーテンレール(W)</li> </ul>
<p>特記事項</p> <p>1) 外壁及び直接外気に面する押入・物入の天井裏スラブ下(外壁面が5900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B類3種(JISA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。</p>	<p>W=最低◇</p>

添付図⑬ 標準平面詳細図 MAIハウス3DK) 74.78㎡



凡

室名
床高さ(FU)
天井高さ

\*Zは各階の  
スラッパ端とする

■ 排気スリーブ	■ 部分はスラッパ天Z+60	■ 点検口
■ 給気口	■ 部分はスラッパ天SL-280	■ 天井点検口
■ 給気スリーブ(ダクト有り)	■ 断熱材	■ 天井点検口
■ エアコン用スリーブ		

○(A)	転倒防止付階段
○(B)	将来手摺下地補強
○(C)	腰高家具等転落防止金具取付下地補強
○(S)	カーテンレール(S)
==	カーテンレール(W)

特記事項

1) 外壁及び直接外気に面する挿入、物入の天井裏スラッパ下、外壁面から900mm以内には、ホリズタルスラッパ(保温材B種3種 UBA9511)厚さ25mm同等以上の断熱材を躯体に設ける事。

有効廊下巾W=1.350を確保

有効廊下巾W=1.350を確保

W=最低◇

排気用スリーブ200φ  
(上階から-350)